

吹田市第4次総合計画 基本計画(素案)の
イメージと考え方(案)

平成●年●月●日

吹田市

《 目 次 》

基本計画

I. 施策体系図	1
II. 取組内容	3
III. 基本計画推進のために	5
1. P D C Aサイクルによる進行管理	5
2. 取組を進めるための3つの視点	6
3. 地域の特性	6
(1) J R以南地域	7
(2) 片山・岸部地域	7
(3) 豊津・江坂・南吹田地域	7
(4) 千里山・佐井寺地域	7
(5) 山田・千里丘地域	7
(6) 千里ニュータウン・万博・阪大地域	7
4. 中長期財政計画	8
(1) 財政の現状	8
(2) 財政収支見通し	8
(3) 財政運営の方針等	8

I. 施策体系図

大綱	政策	施策	頁	
1	1 人権・市民自治 平和と人権を尊重するまちづくり	1 非核平和への貢献	P.●	
		2 人権の保障	P.●	
		3 男女共同参画の推進	P.●	
	2 市民自治によるまちづくり	1 市民参画・協働の推進	P.●	
		2 情報共有の推進	P.●	
		3 コミュニティの活性化	P.●	
2	1 防災・防犯 災害に強く安心して暮らせるまちづくり	1 防災体制の整備	P.●	
		2 防災力・減災力の向上	P.●	
		3 消防・救急救命体制の充実	P.●	
	2 犯罪を許さないまちづくり	1 防犯力の向上	P.●	
		2 消費者保護の推進	P.●	
3	1 福祉・健康 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	1 生きがいづくりと健やかな暮らしの推進	P.●	
		2 介護の充実	P.●	
		3 支え合って暮らす環境の整備	P.●	
	2 障がい者がいきいきと暮らせるまちづくり	1 生活支援など日々の暮らしの基盤づくり	P.●	
		2 社会参画へ向けた教育・就労支援	P.●	
	3 地域での暮らしを支えるまちづくり	1 地域福祉の充実	P.●	
		2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営	P.●	
	4 健康・医療のまちづくり	1 健康づくりの推進	P.●	
		2 地域医療体制の充実	P.●	
	4	1 子育て・学び 子どもの笑顔があふれ子育てしたくなるまちづくり	1 地域の子育て支援の充実	P.●
			2 就学前の保育・教育の充実	P.●
			3 配慮が必要な家庭への支援	P.●
2 豊かな学びと心を育む学校づくり		1 小中一貫教育の充実	P.●	
		2 教育環境の整備	P.●	
3 地域での教育環境づくり		1 生涯学習活動の支援	P.●	
		2 生涯学習環境の整備	P.●	
		3 地域全体の教育力の向上	P.●	

大綱		政策		施策		頁
5	環境	1	環境先進都市のまちづくり	1	低炭素社会への転換の推進	P.●
				2	資源を大切にす社会システムの形成	P.●
				3	健康で快適な暮らしを支える環境の保全	P.●
6	都市形成	1	計画的なまちづくり	1	計画的な都市形成	P.●
				2	良好な市街地空間の形成	P.●
				3	良好な住環境づくり	P.●
		2	自然を育むみどりのまちづくり	1	公園の整備と維持管理	P.●
				2	みどりの継承、創出と活用	P.●
		3	安全で快適なまちを支える基盤づくり	1	道路等の整備	P.●
				2	公共交通等の整備と利用促進	P.●
				3	上水道の整備	P.●
				4	下水道の整備	P.●
		7	都市魅力	1	地域経済の循環及び活性化を図るまちづくり	1
2	就労支援と働きやすい環境づくり					P.●
2	文化・スポーツに親しめるまちづくり			1	芸術・文化の振興	P.●
				2	地域スポーツの振興	P.●
3	市民が愛着を持てるまちづくり			1	魅力の向上と発信	P.●
				2	ホームタウン活動の推進	P.●
8	行政経営	1	効率的な行政運営	1	健全な財政運営の推進	P.●
				2	公共施設の最適化	P.●
				3	ICTの活用	P.●
				4	職員の育成と組織の活性化	P.●

【考え方】

- 1 「大綱」－「政策」－「施策」の3層構造とします。
- 2 施策体系は、以下の視点で整理します。
 - (1)各分野の個別計画と整合を図った施策体系
 - (2)行政評価により、効果的な進行管理ができる施策体系

※上表の施策体系図は、個別計画等を参考に事務局で作成したものであり、今後、庁内で検討を進める中で、政策・施策の分け方や名称等について変更することが可能です。

II. 取組内容

大綱3 福祉・健康

政策1 高齢者がいきいき暮らせるまちづくり



目 標

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築や、高齢者を見守り支え合う地域づくりを進めます。

現状と課題

本市における高齢者人口の割合は、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となる平成37年（2025年）には、65歳以上が24.5%、75歳以上14.9%になると予測されます。全国と比較すると緩やかに高齢化が進むものの、地域によって高齢化の状況は異なっており、すでに高齢化率が30%近くになっている地域もあります。また、高齢化と核家族化の進展に伴い、ひとり暮らしの高齢者やいわゆる「老老介護」も増加しています。

そのような中、高齢者一人ひとりの健康寿命延伸のため、生きがいつくりや健康づくりの取組を推進する必要があります。また、医療や介護が必要となっても、生活の基礎である住まいが確保され、医療、介護、予防、生活支援の各サービスが切れ目なく、一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が求められています。

【考え方】

政策ごとに、以下の内容を掲載します。

- 目標
- 現状と課題
- 施策 …目標を実現するために取り組む施策
- 指標（施策ごとに設定）…成果・進捗の進行管理を行うための指標
- 関連する主な個別計画、関連する主な法令・条例等

施 策

3-1-1 生きがいくくりと健やかな暮らしの推進

高齢福祉室

高齢者がいきいきと健康に暮らせるよう、生涯学習やスポーツなどを通じた生きがいくくりなどを推進するとともに、介護予防に関する知識の啓発や地域での介護予防活動への支援を進めます。

3-1-2 介護の充実

高齢福祉室など

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、保健・福祉及び介護サービスの充実を図ります。

3-1-3 支え合って暮らす環境の整備

高齢福祉室

高齢者を地域で見守り支えるネットワークの構築や、地域のさまざまな相談援助体制の充実を図ります。また、高齢者の住まいや在宅医療などの環境の充実を図ります。

■ 指 標 ■

施 策	指 標 名	現 状	目 標
3-1-1	何らかの社会参加をしている高齢者の割合	59.5% (H26年度)	70.9%
3-1-2	要介護状態にならずに生活できる高齢者の割合	81.1% (H27年)	81.1%
3-1-2	地域密着型サービスの整備数	1か所 (H25年度)	6か所
3-1-3	認知症サポーター養成講座の延受講者数	7,055人 (H25年)	42,000人

▶▶▶ 関連する主な個別計画

■第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

▶▶▶ 関連する主な法令・条例等

■老人福祉法 ■介護保険法

